

蔵書点検のため全館・全室で休館します

令和 6 年 10 月 18 日（金）～10 月 31 日（木）

また、9 月 27 日（金）～10 月 31 日（木）は
閉架書庫資料の閲覧・貸出を停止します

蔵書点検は、図書館に所蔵している本が決められた場所にあるか、行方不明になっている本がないか、点検する作業です。機械を使って本のバーコードを一冊ずつ読み取って、全ての本がそろっていることを確認しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

読書週間イベント

11/2（土）子ども向け

ブラックパネルシアター

9:50～10:30

文化フォーラム春日井 2 階会議室

暗い部屋で光る絵や人形を使ったお話を聞いてみよう

ワクワク！よみきかせ駅伝

10:30～12:00 図書館 3 階おはなしのへや

たくさんのお話を聞こう

腹話術と楽しい手品

14:00～14:40

文化フォーラム春日井 2 階会議室

愉快的腹話術と驚きの手品を楽しもう

11/3（日・祝）～11/4（月・休）

大人向け

ブラインドブック 図書館 3・4 階

本から抜き出した 1 行だけで選ぶ、未知の本との出会い

11/10（日）子ども向け

点字を打ってみよう！

10:00～11:30

図書館 3 階おはなしのへや

自分の名前やメッセージを点字で打ってみよう

文字を音に換える

10:00～11:30

図書館 3 階録音室

“朗読じゃないよ、音訳だよ！”





韓国ドラマ、Kポップ、コスメ、ファッションそして文学など、韓国の文化にハマっている方がたくさんいらっしゃると思います。そんな魅力的な韓国に関する本を紹介します。



『韓国ドラマの妄想ごはんレシピ帖』

堤 人美、ワタナベ マキ/著 主婦と生活社

596.22/カ/23 (知多)

皆さん韓国ドラマはご覧になりますか？ドラマの内容はもちろんですが、食事シーンに出てくるおいしそうな料理がとても魅力的で、食文化の豊かさに驚かされます。この本は韓国ドラマが大好きな二人の料理研究家が、ドラマに出てきたごはんを「妄想」して再現したレシピブックです。韓ドラと韓国料理への理解が深まって、おいしくてとても楽しめる一冊です。

『不便なコンビニ』

キム・ホヨン/著 米津 篤八/訳 小学館

929.1/フ/23 (ふじとう)

社会や職場や家庭で、老若男女問わず何かしら悩みや不安を抱えている人々。韓国でも人々の悩みは共通のようです。この本の舞台は、韓国ドラマでおなじみの、店先にテラス席のあるコンビニです。このコンビニでのいろいろな出会いが悩める人々を少しずつ変えていく、心温まる小説です。韓国では『不便なコンビニ2』も出版済みで、翻訳されるのが待ち遠しいです。



『ハルビン』

キム・フン/著 蓮池 薫/訳 新潮社 929.1/ハ/24

韓国で話題の歴史小説を紹介します。著者によると、この小説のテーマは1909年に伊藤博文を銃撃した安重根（アン・ジュングン）の青春です。国にも人にも歴史あり。この本を読むことで、教科書でしか知らなかった事件と、現在までの道のりが平坦ではなかった韓国の歴史の一部分を知る機会になります。翻訳は北朝鮮拉致被害者の蓮池薫さんと、同じ著者の『孤将』でも翻訳をされています。

おすすめ本紹介 豆知識

何かの話題で話が弾んでいる時、豆知識をちょっと披露すると話のスパイスとなり盛り上がりやすよ。会話の途中にさりげなくどうぞ。「それはね……」



『散歩が楽しくなる花の手帳』

稲垣 栄洋/監修 東京書籍 470/サ/21

1980年代に松田聖子の曲「赤いスイートピー」が大ヒットしましたね。しかし、当時の日本には赤い色のスイートピーは存在していませんでした。それから約20年後、曲に追いつくように赤い色のスイートピーが誕生しました。子どもの頃、道端に咲いているツツジの花の蜜を吸った経験のある方もいらっしゃると思いますが、有毒のツツジがあるのをご存じですか。このような花にまつわる豆知識がたくさんつまった手帳です。

『駅伝のすべて』

坪田 智夫/監修 メイツ出版 782.3/エ/23

「駅伝」の正式名称は「駅伝競走」。100年以上前に日本で生まれました。陸上競技は、野球やサッカーのように戦術が入る要素が少なく、極論すれば速い者・強い者が勝つスポーツです。しかし駅伝となると、各選手の実力+戦略+天候等による不確定要素が混ざりあってドラマが生まれるので、ファンが多いのでは。毎年正月の箱根駅伝も大人気ですね。今から駅伝の豆知識を得れば、観戦も楽しくなりますよ。



『サウナ語辞典』

草薨 洋平+A.M.A.M.I./文 浜竹 睦子/絵 誠文堂新光社
498.3/サ/23

「ガンギマリ」って何の事か分かりますか？最近サウナの愛好家が増えていますね。ストレスの解消や心身のリフレッシュにはもってこいのように、医学的にもその効果は認められているようです。北欧がサウナの発祥と言われていますが、日本にも昔から蒸し風呂の文化がありますね。サウナ室でサウナについてのウンチクを披露してはいかがですか。限度を超える入浴には気をつけて、さあ「ととのい」しましょう。



おすすめ本紹介

珈琲



日本にコーヒーが伝わったのは、江戸時代長崎の出島からだと言われています。

庶民の間にコーヒーが浸透し、今は誰でもコーヒーを楽しむことができるようになりました。

「インスタントコーヒーで充分」と思っている方も、ここに紹介する本をご覧になって、お気に入りの一杯を見つけてみませんか？



『作家と珈琲』 平凡社編集部/編 平凡社 914.68/サ/21

毎日の生活の中で、仕事場で、行きつけの喫茶店でコーヒーを味わう。

旅行先で出会った忘れられないコーヒーの味。

水木しげるや田河水泡は漫画で、北原白秋は詩で、コーヒーの思い出を綴っています。漫画家、詩人、写真家や現代の作家などによる 52 編が紹介されている、コーヒーの香りたどようエッセイです。お気に入りのカフェで、お気に入りの作家の本を静かに読む幸せな時間に、コーヒーは欠かせないものですね。

『絵とマンガでわかるコーヒー 1 年目の教科書』

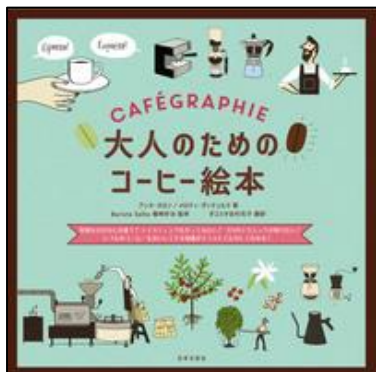
鈴木 樹/著 藤野 リョウ/マンガ KADOKAWA

596.7/エ/23 (高蔵寺)

イラストでやさしく紹介するコーヒーの入門書です。

お気に入りのカフェでなかなかコーヒーを注文できない甘党の会社員森川さんが、バリスタの著者と出会い、美味しいコーヒーの世界を巡る旅が始まります。

道具、豆の産地、水、焙煎の時間、ブラックコーヒーかエスプレッソ系にミルクを入れるか、組み合わせを考えるとコーヒーの味は無限ですね。森川さんはお気に入りのコーヒーに出会えたようです。



『大人のためのコーヒー絵本』

アンヌ・カロン、メロディ・ダンテュルク/著 篠崎 好治/監修
ダコスタ吉村花子/翻訳 日本文芸社 596.7/オ/20 (知多)

豆の産地、歴史、木の育て方、焙煎とアロマなどについて一からコーヒーを教えてください。また、コーヒーかすの活用法や料理にコーヒーを使う方法、豆が私たちに届くまでがカラフルなイラストで紹介されています。日本ならではの情報や、カフェインレスコーヒーについても紹介されています。多くの方の努力と愛情で、私たちは美味しいコーヒーを飲んでいるのですね。